

「特別の教科 道徳」 第3学年 年間指導計画

学校の教育目標	心身とも健康な人 自ら学ぶ人 他を思いやる人
学年の重点項目	A(1)自主、自律、自由と責任

月	主題名	内容項目	資料名	ねらい	展開の概要(基本発問・中心発問)	私たちの道徳
4	言葉にそえて	B(7)	言葉おしめ	作者が経験した、投げかける言葉と受け止める言葉のやりとりの場面を通して、社会生活の中で礼儀の意義や役割を理解し、時と場に応じた適切な言動をとろうとする態度を育てる。	【基本発問1】作者が言葉について危惧していることは何か。 【基本発問2】「心遣いをわきまえた大人」とはどんなことができる人のことを言うのだろうか。 【基本発問3】電車の中で作者が体験した場面のロールプレイングを行って考えよう。 【中心発問】3つの場面の返事やあいさつは、その場の雰囲気やどう変えたのだろう	P10-13
	働くことの喜びとは	C(13)	たんぼぼ作業所	働くことの厳しさに直面しながらも、その意義を見いだそうとしている「ぼく」の心情を通して、働くことの尊さや意義を理解し、勤労を通じて社会の発展に尽くそうとする態度を育てる。	【基本発問1】「ぼく」はどうしてたんぼぼ作業所で働くと思ったのだろうか。 【基本発問2】修一君の担当になった「ぼく」が、今の仕事に自信を持てなかったのはなぜだろう。 【中心発問】仕事に対して、「ぼく」が「少し分りかけた」とは、どのようなことだろう。	P14-18
	周りの人に支えられて	B(6)	埴生の宿	クラスの仲間と主人公が関わり合い、変容していく様子に共感することで、温かい人間愛を深め、だれに対しても思いやりを持つて、ともに生きようとする意欲を育てる。	【基本発問1】苑子がクラスの仕事を免除されているのは、どうしてだろう。 【基本発問2】周りの人にとって、あなたはどのような存在でありたいか。 【中心発問】合唱コンクールの後、明らかに苑子が変わったのは、なぜだと思いか	P31-35
5	信念をつらぬいて生きる	D(22)	背番号15が歩んだ道―黒田博樹	ファンへの感謝を忘れずに、夢をあきらめず努力した黒田選手の姿勢に共感し、自分の生き方に誇りを持ち、夢や希望のあるよりよい生き方を見いだそうとする心情を育てる。	【基本発問1】高校で補欠だった黒田選手がプロ野球選手になれたのはなぜだろう。 【基本発問2】横断幕のメッセージにはファンのどんな気持ちが含まれていたか。 【基本発問3】黒田選手が、人知れず、広島の大震災を見舞ったのは、どのような思いからだろう。 【中心発問】黒田選手がMLBの高額な年俵を断つてまで、古巣のカーブに戻ったのは、どのような考えからだろう。	P36-41
	家族の支えがあるから・・・	C(14)	背筋をのぼして	敬愛する両親の思いを受け止めつつも自分の夢の実現に向かおうとする主人公の姿を通して、家族を敬愛し、家族の一員としての自覚を持ち、よりよい家庭生活を築こうとする心情を育てる。	【基本発問1】千里の将来の夢は何か。 【基本発問2】千里が「デザイナーになる夢」を家族に言い出せなかったのはなぜか。 【基本発問3】お父さんから、「精いっぱい頑張ってください。」と言われた千里は、父や母にどのような思いをもって、家を離れたのだろう。 【中心発問】進路希望用紙をたたみながらふくれていった千里のやり場のない思いとは、どのような思いなのだろう。	P42-47
	見方を変えれば	A(3)	ぼくにもこんな「よいところ」がある	自信を失いかけていた主人公が、友人の言葉によって自己理解と自己受容を深めていく姿を通して、自己を見つめ、自己のよさに気づき、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする意欲を育てる。	【基本発問1】「ぼく」が自分の真面目さを受け入れられずに苦しんだのは、どうしてだろう。 【基本発問2】「ぼく」が、「ぼく」自身やみんなにどんなよさがあるのか、あまり積極的に答える気にはなれなかったのは、どうしてだろう。 【中心発問】「ぼくは、もう決して危険な存在などではないのだ。」と感じることができたのは、なぜだろう	P48-52
6	郷土に息づく心ふれて	C(16)	島唄の心を伝えたい	郷土の人々や土地を愛し、誇りを持って大切にしている「私」の姿に共感することで、郷土の自然や文化に愛着を持ち、先人に対する尊敬や感謝の念を深めるとともに、自らもその発展に努めようとする心情を育てる。	【基本発問1】主人公が島唄を習っている間にどのような心の変化があったか。 【基本発問2】主人公は島唄から何を学んだのか。 【基本発問3】自分たちの郷土にはどのような心が息づいているだろう。 【中心発問】「私」が大切にしたいと言っている「島の心」とは、どのような心のことだろう	P54-57
	先人の思いとともに	C(17)	火花と灯ろう流し	火花と灯ろう流しについての作者の思いを通して、日本の年中行事について理解を深め、先人たちの豊かな心情を感じ取り、伝統の継承と文化の創造に努めようとする心情を育てる。	【基本発問1】「火花」や「灯ろう流し」の写真からどんなイメージを受けるだろうか。 【基本発問2】「火花」や「灯ろう流し」には、どのようないわれがあったのだろうか。 【基本発問3】先人が築いてきたことをこれからの社会に受けつぎ、日本を発展させていくために、私たちにできることはどのようなことだろう。 【中心発問】「灯ろうを流す」という儀式に参加することで、人々は悲しみや苦しみや気持ちを新たにできたというのには、どういうことだろう。	P58-61
	日々を見つめて	A(2)	早朝ドリブル	生活のリズムの乱れに葛藤する主人公の姿を通して、心身の健康と望ましい生活習慣との関わりを理解し、進んで節度と調和のある生活をしようとする意欲を育てる。	【基本発問1】どんどん低い方向に流されていくような不安を感じたのは、なぜか。 【基本発問2】「あわてず、あせらず、生活のリズムをしっかり作って、1日1日を着実にこなしていこう。」とはどういうことか。 【基本発問3】決まりのある生活をしていくために必要な心がけとして、どのようなことが考えられるだろうか 【中心発問】――樹が生活のリズムを整えられないうままだったら、どうなるだろう	62-65
7	いじめのない世界へ	C(11)	無実の罪	助産師のメッセージにこめられている、生命の誕生に対する責任感や喜び、感謝の念、生命の神秘性を通して、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。	【基本発問1】どのような話だったか。 【基本発問2】ヤマモトさんに「このまま罪を受け入れてだまってるほうが楽！」と言われたのは、ほかの人のどういう思いだろう。 【基本発問3】人を追いこんでしまう心、助ける心について話し合おう 【中心発問】ヤマモトさんを支えたものを、いくつか挙げてみよう。	P
	いじめのない世界へ	A(1)	ある日の午後から	主人公の心情の変化に着目して考えることを通して、自主的な考えのもとに誠実に実行し、行動の結果に責任を持つようとする心情を育てる。	【基本発問1】ひかるは、なぜ後になってからいらして来たのだろうか。 【基本発問2】ひかるは、どのような気持ちで「冷たくされた私だ。」と書き込んだのだろうか 【基本発問3】いじめをしないために、どういうことを大切にしていたらよいだろう。 【中心発問】夢から覚めたひかるは、次の日、家を出るまでに、どのようなことを考えたのだろうか。	P
	いじめのない世界へ	A(1)	いじめから目をそむけない	中学生が集まりいじめ防止に向けて行った取り組みについて考えることを通して、いじめの問題に向き合い、自主的に考え判断し、誠実に実行しようとする態度を育てる。	【基本発問1】印象に残ったところ1箇所を線引いて、線をついた箇所と線をついた理由を発表しよう。 【基本発問2】これまでの話し合いを参考に考えを出し合い、自分たちの行動指針を作ってみよう 【基本発問3】今までの学習を振り返り、いじめ防止や今あるいじめをなくしていくためには、何を大切にしていければよいか、考えをまとめよう 【中心発問】なぜ「いじめ」をなくすことは難しいのか。グループで話し合い、その結果をクラスで発表しよう。	P
9	神秘の世界へ	D(21)	ハッチを開けて、知らない世界へ	宇宙空間という音も空気もない「命のない世界」で、作者が感じた「生命感」に共感することにより、美しい地球や神秘的な生命という、人間の力を超越したものに対する尊敬の心情を育てる。	【基本発問1】全ての写真を通して、どのようなことを感じただろう。 【基本発問2】野口さんは実際に宇宙に行くと、どのようなことを感じたのだろうか。 【中心発問】野口さんはなぜ、地球は美しいと思ったのだろうか	P66-70
	自分の生活を見直して	A(2)	スマホに夢中!	スマートフォンに夢中になってしまい、事故を起こしてしまった主人公の行動について考えることを通して、心身の健康と望ましい生活習慣との関わりを理解し、進んで安全で調和のある生活をしようとする態度を育てる。	【基本発問1】事故が起きる前までは、奈美恵はスマホの使い方について、どのように考えていたのだろうか。 【基本発問2】実際にあった事故事例やアンケート調査を見て、スマホの使い方について考えよう。 【基本発問3】日頃から、安全で調和のとれた生活を心がけようとして意識していることは、どのようなことだろう。 【中心発問】階段の下に転落した事故の後、奈美恵はスマホの使い方について、どのようなことを考えたのだろうか	P82-85
	寄りそう中で	C(12)	加山さんの願い	主人公のボランティア活動に対する心情の変化について話し合うことを通して、主体的に社会に関わることの意義について理解し、公共の精神を持つてだれもが安心して生活できる社会を築いていこうとする意欲を育てる。	【基本発問1】すこすこ帰る加山さんが、心の中でつぶやいたのは、どのようなことだろう。 【基本発問2】人間どうしが支え合って生きるために大切なことは、どのようなことだろう。 【中心発問】加山さんが「肩の力がぬけて何をすることも楽になった。」のは、どうしてだろう。	P86-90
10	いのちを考える		生まれてきてくれてありがとう―助産師からのメッセージ	助産師のメッセージにこめられている、生命の誕生に対する責任感や喜び、感謝の念、生命の神秘性を通して、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。	【基本発問1】赤ちゃんの誕生に備え、日々、全力を尽くす毎日の中で、助産師さんが向き合っている「もっと大きなもの」とは、何だろうか。 【基本発問2】助産師さんは、命についてどのような思いや考えを持っているのだろうか。 【基本発問3】あなたが自分や他者の命に感謝するのは、どのようなことだろうか。 【中心発問】助産師さんは、いつもどんな気持ちで赤ちゃんをだき上げるのだろうか	P72-74
	いのちを考える		くちびるに歌をもて	極限の状況にあっても自らの生命の方を信じ、互いに支え合って生きぬいた人々の姿を通して、どんなに困難な状況であっても、自己の生命を守り、大切に生きていこうとする態度を育てる。	【基本発問1】一人暗い波間に浮かんでいたマクケナは、どのような気持ちでいたのだろうか。 【基本発問2】気味の悪い静けさの中から、突然きれいな歌声が流れてきたときのマクケナの気持ちを考えてみよう。 【基本発問3】1本の材木につかまっている婦人たちに会えたときの、マクケナの気持ちを考えてみよう。 【中心発問】お嬢さんの歌を、マクケナはどのように受け止めているのだろうか	P75-79
	いのちを考える		人間の命とは―人間の命の尊さ・大切さ考える	尊厳死をめぐる裁判をもとに、生命の尊厳についてさまざまな立場から多面的・多角的に考え、生命倫理について関心を深めるとともに、自他のかけがえのない生命を尊重しようとする態度を育てる。	【基本発問1】カレンさんの両親は、どのような思いや考えから医療措置の打ち切りを拒否しようとしたのか。 【基本発問2】カレンさんの主治医や、州の裁判官が、医療措置の打ち切りを認めなかったのは、どのような考えからか。 【基本発問3】③でまとめたそれぞれの考えを出し合って、グループで、さらにクラスみんなで話し合おう。 【中心発問】カレンさんの話を聞いて、あなたが考えたこと、思ったことをまとめよう。	P80-81

将来の自分を見つめて	C(13)	好きな仕事か安定かなやんでいる	職業選択に関するさまざまな立場からの意見について考え、勤労の尊さや意義を理解するとともに将来の生き方について考えを深め、充実した生き方を追求し実現しようとする心情を育てる。	【基本発問1】大学生の投書を読んで、どのようなことを感じただろう。 【基本発問2】共感できる意見について、グループで意見交換をしよう。 【基本発問3】進路を選択するときに大切なことはどのようなことだろう 【中心発問】あなたがいちばん共感できるのは、だれの意見だろう。それは、どのようなところだろう	P91-93
次世代のいない手として	C(10)	缶コーヒー	登場人物の言動についての話し合いを通して、公共の場での決まりの意義を理解し、決まりを守ることの大切さを自覚するとともに、みんなが安心して過ごせる社会を築こうとする心情を育てる。	【基本発問1】主人公はなぜ「もっと早く足を引っこめればよかったんです……。」と言ったのだろう。 【基本発問2】「すみませんでした……。」と言って、「混んでいる人をかき分けるように降りていった」女性は、どんなことを考えていただろう。 【基本発問3】よりよい社会を創っていくために心がけなければいけないことは、どのようなことだろう。	P96-99

11	次世代のいない手として	C(10)	缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう	缶コーヒーをめぐるやりとりの場面を役割演技することを通して、責任を他人だけに押し付けたり、自分だけでかかえこんだりすることなく、みんなが安心して過ごせる社会を築こうとする態度を育てる。	【基本発問1】「缶コーヒー」で、コーヒー缶が転がって、「私」のスカートとノートがよごれてしまったとき、それぞれの人は、どのような気持ちになったか、下のふき出しに書こう 【基本発問2】3人一組になって、「女性」役、「私」役、「竹内さん」役と、役割を決めよう。 【基本発問3】役を交替しながら、全員が全ての役を演じてみる。 【中心発問】それぞれの役を演じてみて、気づいたこと、感じたことを書こう。	P100-101
	情報モラルと友情	B(8)	合格通知	SNSを使用する際の注意点を考えることを通して、互いの正しい理解によってより豊かな人間関係が築けることが分かり、心から信頼できる真の友情を育てようとする態度を育てる。	【基本発問1】SNSに投稿するときに気をつけることはどういうことだろう。 【基本発問2】舞と美穂は互いに友人として、どのような問題があったのだろう。 【基本発問3】友達とよい関係を築くためにはどのようなことが必要だろう 【中心発問】舞は、両手で頭をかかえこんで自分の席に座っているとき、どのようなことを考えていたのだろう	P102-105
	恩恵に感謝して	D(20)	よみがえれ、日本海！	一漁師の思いや多くのボランティアの人々の日本海をよみがえらせる行動を通して、自然を愛し感謝する心や、自然環境を守りぬこうとする態度を育てる。	【基本発問1】ナホコ号沈没の知らせを聞いて、三国町の人たちはどのような気持ちだったのだろうか。 【基本発問2】「海は死んでしまった……。」「吉春さんは、なぜこうつぶやいたのだろう。 【基本発問3】自分が関わっていいけそう「自然を守る」ための活動には、どのようなものがあるだろう。	P106-110
	差別や偏見をなくすために	C(11)	伝えたいことがある	差別や偏見を許さない断固とした姿勢でたかう大石さんの姿に共感することで、だれに対しても公正、公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度を育てる。	【基本発問1】大石さんが姿を隠すように東京へ出たのは、なぜだろう。 【基本発問2】奥さんに、二人目の子供を「産むのはいや!」と言われたとき、大石さんは何を考えたのか。 【基本発問3】差別や偏見のない社会を築いていくために必要なのは、どのようなことだろう。 【中心発問】大石さんの決意を支えたものは、何だろう。	P111-115
12	伝統を創るもの	C(15)	受けつがれる思い	悩んだり、あきらめかけたりしながらも、最後までサッカー部の活動を続けた主人公たちの姿を通して、互いに協力し合い励まし合ってよりよい校風づくりに努めようとする意欲や態度を育てる。	【基本発問1】他の部員のもとに行ってしまった堀君を見つめて、藤田君はどのような気持ちになったのだろう。 【基本発問2】なぜ、最後の試合に負けながらも、どこかはれればとした気持ちになったのだろう。 【基本発問3】伝統とは、どうやって創られていくのだろう。 【中心発問】どのような思いで、「任せろ。」「たのんだぞ。」と言って、グラウンドを去ったのだろう。	P118-121
	より高い目標を目指して	A(4)	高く遠い夢	いくつになっても夢を持ち、あきらめずに一歩一歩努力を積み上げていく作者の姿を見つめることを通して、より高い目標の実現を目指して、最後まで粘り強く自らの人生を着実に切り開いていこうとする意欲を育てる。	【基本発問1】藻岩山登山ですつかりのびてしまい、おじいさん、おばあさんに追い越されてしまった作者はどのような思いだったのだろうか。 【基本発問2】より高い目標を目指して生きていくために必要なことは何だろう。 【中心発問】作者が、世界最高峰でのエベレスト登山を成しとげられたのはなぜだろう。	P122-127
	心から信じあえる友を	B(8)	ライバル同士の友情 ースピードスケート小平奈緒と李相花	小平選手と李選手の二人の関係を通じて、友情と信頼の意義を理解し、友情を深めようとする態度を育てる。	【基本発問1】口もとに指を当てるしぐさをしたとき、小平選手は何を考えていたのだろう。 【基本発問2】友情を深めるために必要なことは何だろう。 【中心発問】小平選手と李選手は、それぞれ相手のことをどのように思っているのだろう。	P128-131
1	価値をめぐる	B(9)	しあわせ	それぞれの感じる「しあわせ」について学級で意見交換を行う場面を通して、それぞれの立場を尊重し、寛容の心を持って、いろいろなもの見方や考え方があることを理解しようとする態度を育てる。	【基本発問1】今日の給食にマーゴ豆腐が出ることを知ったタマゴマンは、どのような気持ちになったか。 【基本発問2】今日の給食にマーゴ豆腐が出ることを喜んでいるアナゴマンを、タマゴマンはどう思っているのだろうか。 【基本発問3】お互いの考え方がそれぞれ認められ、生かされるためには、どうしたらよいだろう。 【中心発問】考え方のちがいを知ることがスタートなら、ゴールは何を目指していったらよいだろう	P134-137
	価値をめぐる	B(9)	おたがいの「ちがいを」認め合おう	グループで違う意見が出たときにどうすればよいか話し合う活動を通して、それぞれの立場を尊重し、理解しようとする態度を育てる。	【基本発問1】自分の好きな食べ物と、好きな理由を書こう。 【基本発問2】グループの人たちと、好きな食べ物と好きな理由を伝え合おう。 【中心発問】クラスのレクリエーションで、あなたがしたいことと、その理由を書こう。	P138-139
	弱さとうき合って	D(22)	足袋の季節	おばあさんを裏切った許せない自分を受け止めながら前向きに生きる作者の姿に共感し、自らの弱さや醜さを克服する強さを持ち、人間として気高く生きようとする態度を育てる。	【基本発問1】小樽の郵便局で働いていたとき、作者はどのような生活をしてたか。 【基本発問2】思わず「うん。」とうなずき、その場を立ち去っていく作者は、どのようなことを思ったのだろう。 【基本発問3】「あのおばあさんが私にくれた心を、今度はだれかにさしあげなければならぬ」と考え、作者はこの後どのような人生を歩んでいったのだろう。 【中心発問】おばあさんの死を知り、「無性に自分に腹が立ってしやうがなかった。」のはなぜだろう。	P140-142
2	その子の世界、私の世界	C(18)	その子の世界、私の世界	4枚の写真を見て、世界の子供たちを取り巻く現実について考えることを通して、国際的視野に立って国際社会の問題を理解し、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。	【基本発問1】144～145ページの4枚の写真の中から、気に入るものを1枚選ぼう。それについて感じたこと、考えたことを書こう。 【基本発問2】同じ写真を選んだ人でグループを作り、話し合おう。 【基本発問3】世界の子供たちの現実を知って思ったこと、考えたことなどを書こう。 【中心発問】どんな意見や感想が出たか発表しよう。	P144-147
	その子の世界、私の世界	C(18)	そこ	「その子の世界」と「私の世界」の違いを話し合い、国際社会の問題解決について考え、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする態度を育てる。	【基本発問1】詩と絵から感じたこと、考えたことを書く 【基本発問2】日々の生活の中で、「そのこのみらいのためになにができるか」考えてみよう。 【基本発問3】「国際社会の問題の解決」に向けて考えてきたが、あなたが思ったことや学んだことを書いてみよう。 【中心発問】「だれかへおしえてほしい」とあるが、作者のどんな思いがこめられているのか。	P148-151
	新しいものを生み出すには	A(5)	日本から世界へ、そして宇宙へ インスタントラーメンの誕生	新しいものを開発するために追究を続ける安藤百福の姿を通して、真実を大切に、真理を追究して新しいものを生み出すために努力しようとする意欲を育てる。	【基本発問1】安藤百福が、「だれでもすぐに食べられるラーメンを作ろう。」と思ったのはどうしてだろう。 【基本発問2】安藤百福はどんなことを意識しながら研究に励んでいたのだろう。 【基本発問3】新しいものを生み出すときに必要なことは何だろう。 【中心発問】安藤百福が開発において、「これでもかこれでもかと追究する」のは、なぜだろう。	P152-156
3	人っていいなあ 思いやりの連鎖	B(6)	一冊の漫画雑誌	被災地において自分がすべきことを考え行動しようとしている人たちの気持ちを考えることを通して、思いやりの心を持ち、互いに助け合い、心のきずなを大切にしながら共に生きていこうとする心情を育てる。	【基本発問1】塩川さんのどのような思いが、店を開けさせたのだろう。 【基本発問2】若い男性から最新の漫画雑誌を譲り受けたとき、塩川さんはどんな思いだったのだろう。 【基本発問3】助け合い、協力し合うためには、どのような気持ちが必要だろう。 【中心発問】子供たちのどのような思いが、募金箱を設置させたのだろう	P158-161
	自ら社会参画を	C(12)	社会からの無言の称賛を感じる感性	表立って感謝されることはないが、だれかが行わなければならない仕事を引き受けている人たちの姿について考えることを通して、社会参画の意識と社会の一員としての自覚を深め、進んで社会の発展のために努めようとする態度を育てる。	【基本発問1】雪かきをする人、たぐさんの人にも目撃されず、誰からも感謝の言葉すらかけられないのに、どのような思いでやっているのだろう。 【基本発問2】どういった人々の、どのような心や感性が、社会を支えているのだろう。 【中心発問】内田氏は、どのような気持ちで、「雪かき仕事」に対する敬意が欠けていると言ったのだろう。	P162-164
	責任ある行動とは	A(1)	スイッチ	卓球部のキャプテンとしてチーム運営に悩む主人公の姿を通して、自主的な判断のもとに誠実に実行し、自らの行動に責任を持つようとする心情を育てる。	【基本発問1】主人公は、なぜ高松さんの手伝いをしたいと思ったのだろうか。 【基本発問2】高松さんの目をまっすぐに見て言った主人公の、「やりましょう」という言葉には、どんな思いがこめられているのだろうか。 【中心発問】反対があったにも関わらず、主人公はなぜ「自分が農業を変えてやるという思い」になったのだろう。	P166-170
	コミュニケーションの原点を見つめて	B(9)	心にしみこむ ”言葉”の力	人々気持ちを伝えたたりコミュニケーションをとったりすることの難しさに共感することを通して、人それぞれの個性や立場を尊重し、謙虚に学び、広い心を持つようとする態度を育てる。	【基本発問1】洪沢が東京養育院を設立し、生活困窮者の保護に乗り出したのには、どんな思いがあったのだろうか。 【中心発問】「いくら年をとっても、人間を辞職するわけにはいかん」という言葉には、洪沢のどんな思いがあるのだろうか。	P171-174
	規則の意義とは	C(10)	二通の手紙	元さんの行動と意思を考えることを通して、法や決まりについての意義を理解し、社会の秩序と規律を高めていこうとする意欲を育てる。	【基本発問1】襟裳の人々は、どのような思いで植林を続けたのだろう。 【基本発問2】砂漠化が止まっても、海が生き返りそうなかったとき、襟裳の人々はどのような思いだったのだろう。 【中心発問】「流水」の話聞いた主人公は、知床の海の沖を眺めながら、どんなことを考えていたのだろう	P175-179